

SPECIAL 2004

FEATURING A GREATER CHOICE OF "SPECIAL SHOP" FOR YOUR HAPPY MOTORING

SHOP

NEKO MOOK 678

自動車雑誌
編集部が
こっそり教える

全国216店徹底網羅

知識と技術で
勝負する、
クルマ専門の
プロショップ。



エンスージャストの自動車趣味生活をバックアップする
全国のスペシャル・ショップアルバム
[スペシャル・ショップ2004]



BIALBERO

有限会社ビアルベロ
〒421-1221 静岡県静岡市牧ヶ谷2046
2046, Makigaya, Shizuoka-shi, Shizuoka, 421-1221
Tokyo, 152-8545

営業時間/9:00~18:00
定休日/木曜日、祝日、第1・第3日曜日
☎054-277-0578 ☎054-277-0579
E-mail/bialbero@quartz.ocn.ne.jp

SHOP'S PRIDE

パンダカップ3年連続チャンプの技術力と、
クラブハウスのなくつろいだ雰囲気同居。
イタ車への熱い思いが伝わってくるお店。



幹線道路から少し奥まったところにあるが、カラフルなイタリア車が並んでいるので、すぐわかるはず。なお、この写真に写っている社名が入った扉は開店時には開いている。



店内にはデルタを始め、フィアット・アバルト1000ベルリナーナコルサ、マルチニカラーのランチア037ラリー、オレンジ色の同車、アルファSZなどマニア垂涎のマシンが並ぶ。整備用リフトも2基ある。



83年にWRCグループB規格で開発されたランチア037ラリー。ミッドシップでスーパーチャージャーにより300PS以上のパワーを発生。実車をぜひ見て欲しい。



階段を上るとそこには広いミーティングスペースがある。いろいろな販売用グッズの棚の上には、さりげなく飾られたパンダカップ等の優勝トロフィーを発売。

10年前にオープンしたこのショップのメニューは、まさにイタリア車オンリー。ランチア・デルタに乗る“走り屋のお客さん”が多かった開店当時から較べると、今はちょっと大人しめの“アルファ系のお客さん”が増えているというが、回してなんぼ、走ってなんぼ、という心に訴えかけるイタリア車が大好きなお客さんが集まるショップであることは終始一貫している。

イタリア車のことなら日常のメンテナンスからコンピュータチューン、メカチューン、そして钣金、車検まで、5名のスタッフが対応してくれる。静岡県では正規ディーラー以外は導入していないというフィアットやランチアのテスターも完備する。

代表の鳥羽さんは、同ショップがオープンする8年前からイタリア車に携わってきたという。なかでもデルタは新車時代からの付き合いだけに、その扱いは完璧にマスターしている。デルタにスカイラインのタービンを移植などという、まさにワンオフのチューンすら対応してくれる。また、「イタリア車であることに変わりない」ということでフェラーリも得意車種のひとつだ。「最近ではイタリア車にAT車が増えていますから、女性にもドンドン乗ってもらいたいですね。当店も敷居を低くしてあるはずなんですが」と鳥羽さんは笑う。

パーツではレース用CPUのトップブランドであるモータックを扱うほか、イタリア車用パーツとして近年特に名高いドイツ・ノヴィテックの正規代理店でもある。ノヴィテックはドイツ人チューナーらしい精度の高さに定評があるメーカーだ。

レース活動も活発で、1999年から3年間はパンダカップで連続シリーズチャンプを獲得。今年7月18日に長野県のラリー・キッズ伊那で開催される“10th Delta Cup DCS2004第2戦(ランチアクラブ・ジャパン主催)”にエントリーする。こうしたレース活動で得たノウハウが、お客さんのイタリア車に生かされるわけだ。

取材日には店頭で2台の新型フィアットパンダが並んでいた。鳥羽さんは「正規ディーラーでは扱わない左ハンドル・MTといった車種を積極的に入れていきたい。クラブハウスのな当店で“車とともに年をとっても楽しめるクルマ遊び”を一緒にしましょう」と誘う。東名高速・静岡インターから15分ほどだから、関東、中部の両方面からアクセスもいい。イタリア車フリークなら一度は行っておきたいショップだ。